

②地球温暖化対策について

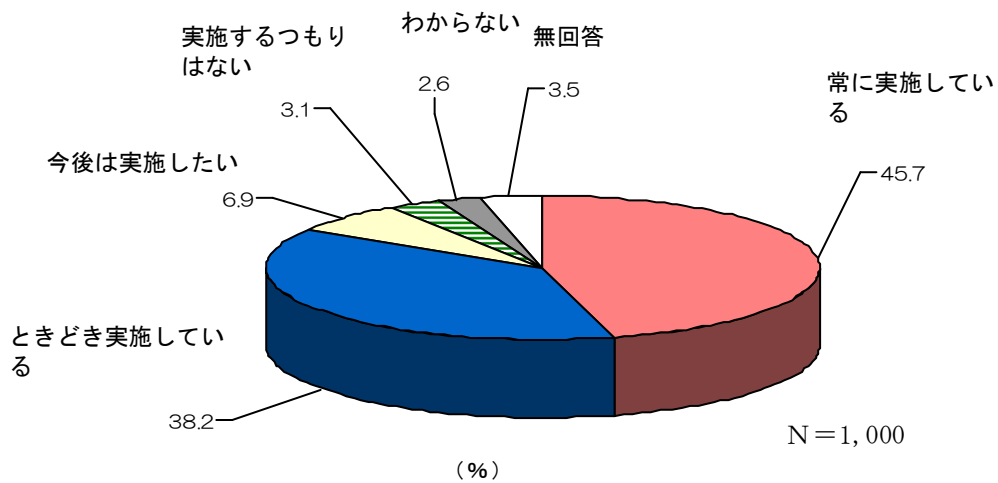
地球温暖化は、石油や石炭などの化石燃料を燃やすこと、つまり私たちの生活で電気やガソリンなどのエネルギーを大量に使うことによって排出される二酸化炭素（CO₂）などの増加が原因と言われています。また、地球温暖化によって、大型台風の頻発などの異常気象や海面上昇など、私たちの生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されており、地球温暖化は世界的な問題となっています。

今回のアンケートは、市民の皆さまの環境にやさしい生活（エコライフ）の実践状況や地球温暖化防止に対する考え方などをおたずねし、今後の事業の展開を検討するための貴重な資料とさせていただきます。

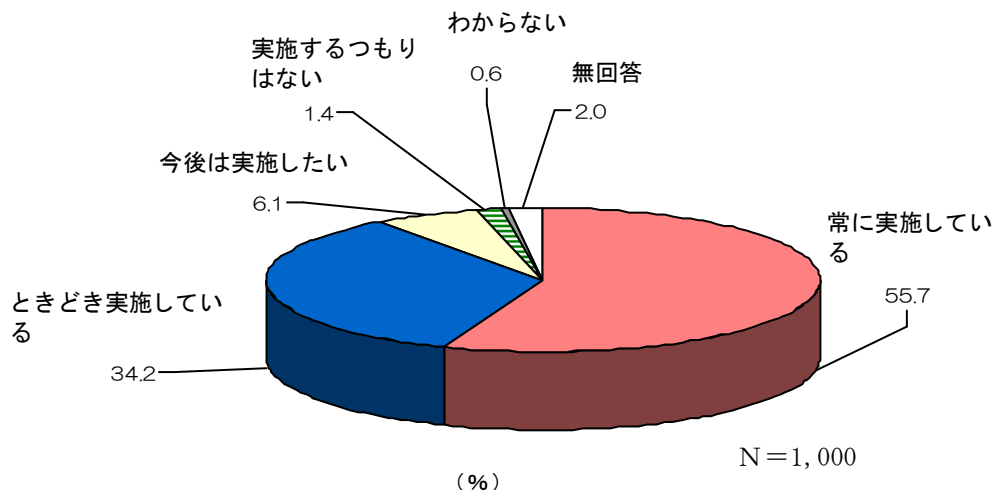
<エコライフについて>

問 15 以下の選択肢は日常生活の中で出来る地球温暖化防止の取り組みの主なものですが、あなたが取り組んでいることは何ですか（それぞれの項目について、該当する番号に○を**1つだけ**つけてください）

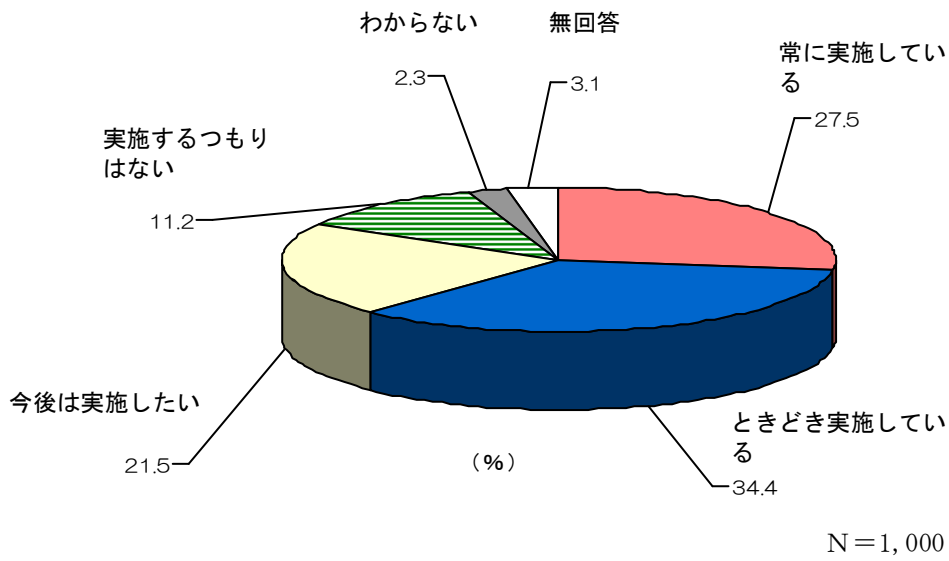
① 冷暖房機器の設定温度を高め、低めに設定している（推奨温度は夏 28 度、冬 20 度）



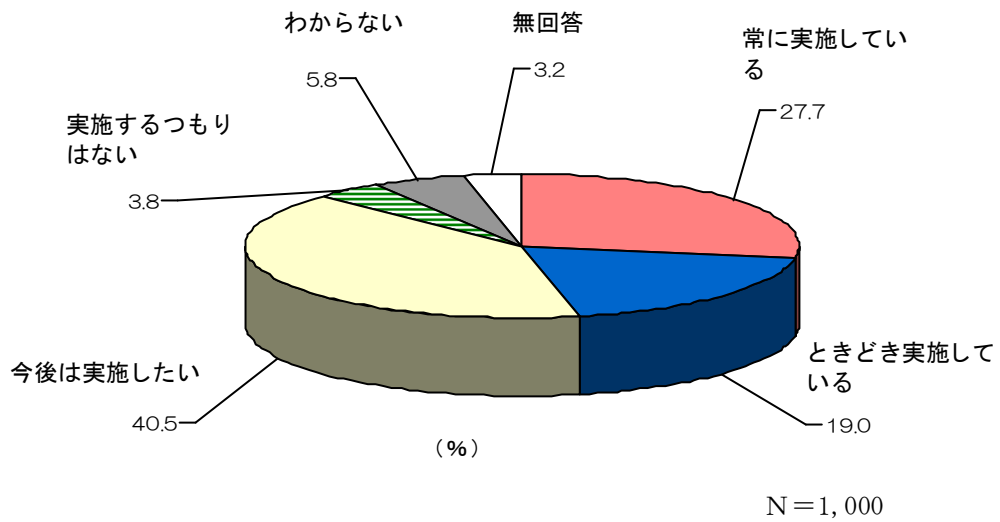
② 照明やテレビなど、こまめにスイッチを消している



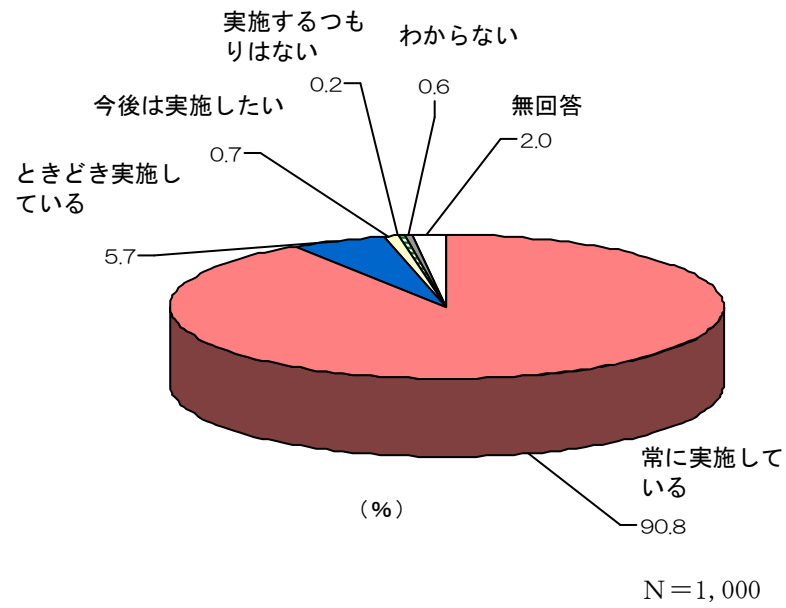
③ 使っていない電化製品のコンセントをこまめに抜いている



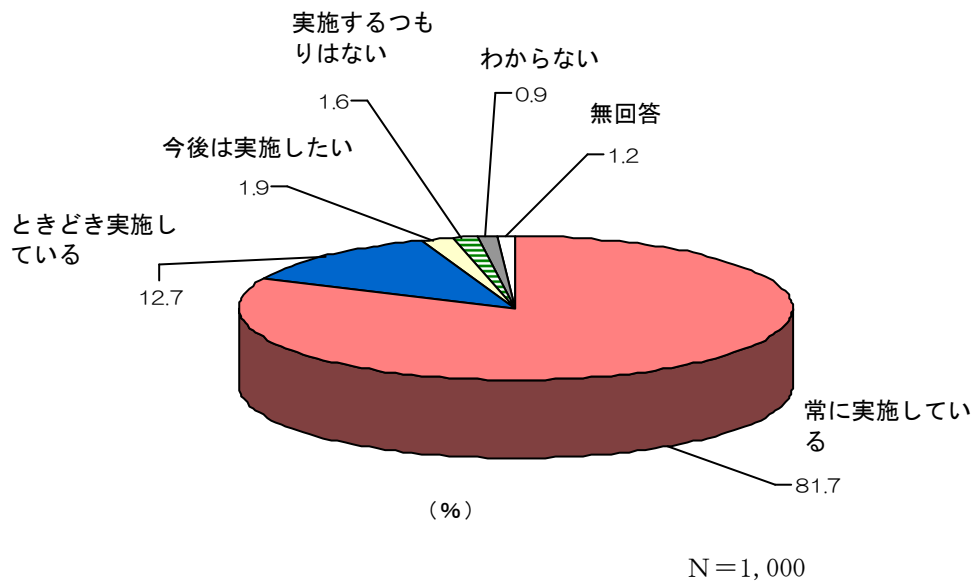
④ 照明を交換する際、白熱電球から蛍光灯やLEDなどの省エネタイプに替える



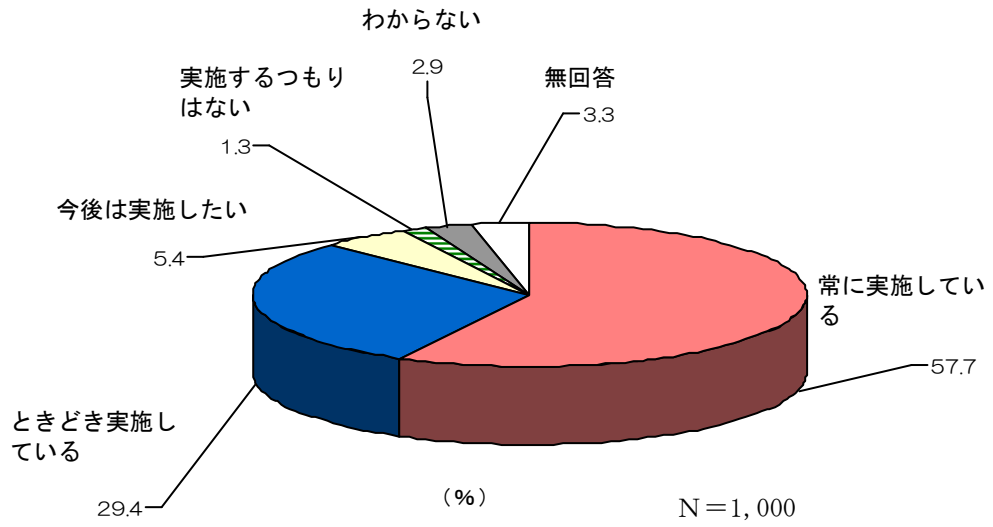
⑤ ごみと資源をきちんと分けて出している



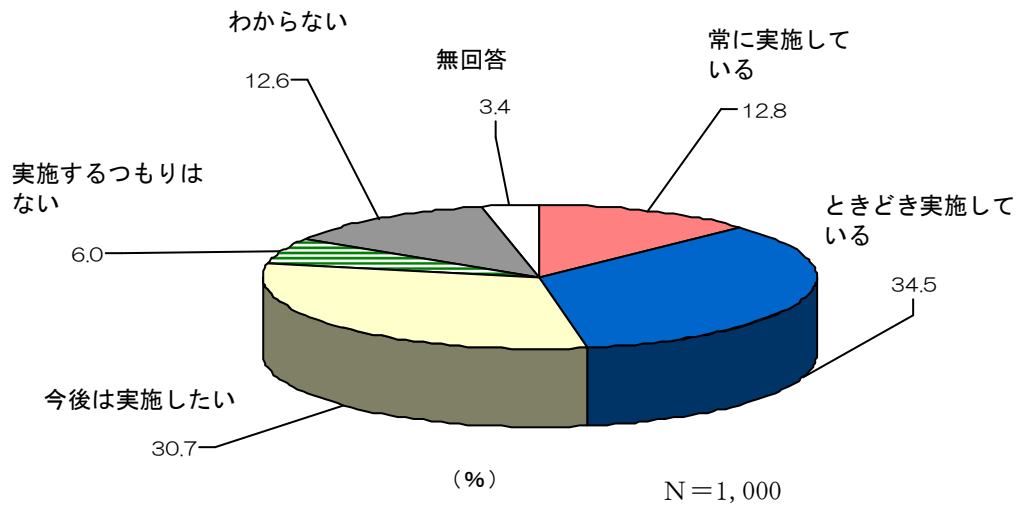
⑥ 買物をする際にマイバッグを持参している



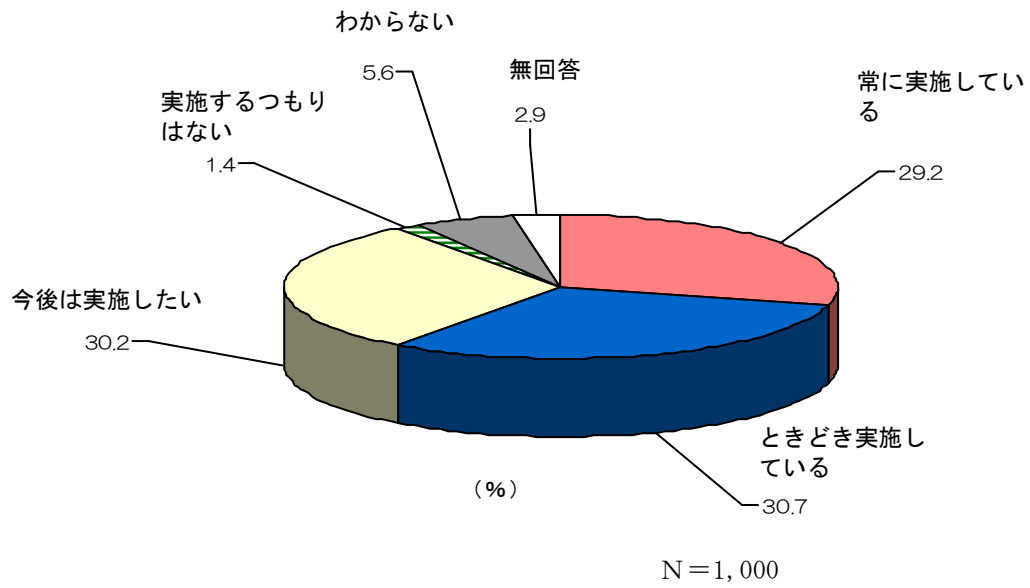
⑦ 詰め替え商品を優先的に購入している



⑧ 環境ラベル（エコマークなど）のある商品を優先的に購入している



⑨ 家電製品は環境に配慮したものを購入している（省エネ性能など）

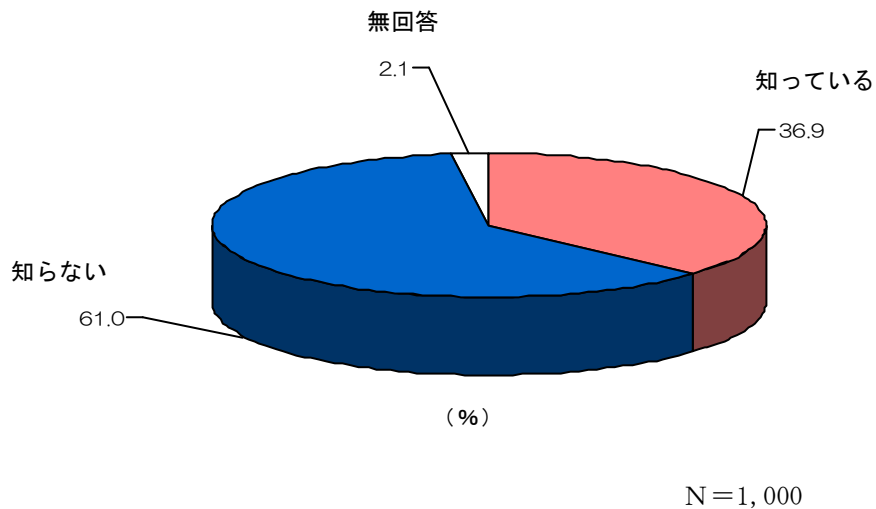


<EXPO エコマネーについて>

「EXPO エコマネー」は、愛・地球博で実施された環境通貨の実験事業のことです。万博閉幕後は、「環境に配慮した行動（エコ活動）」をポイント化し、発行ポイントに応じてエコ商品への交換や、植樹に寄付をすることができる仕組みを展開しています。

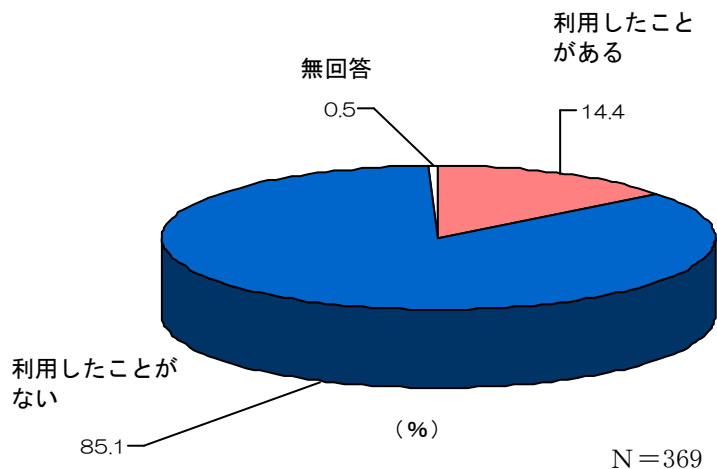


問 16 あなたは、エコマネーの制度をご存知ですか。（○は1つだけ）



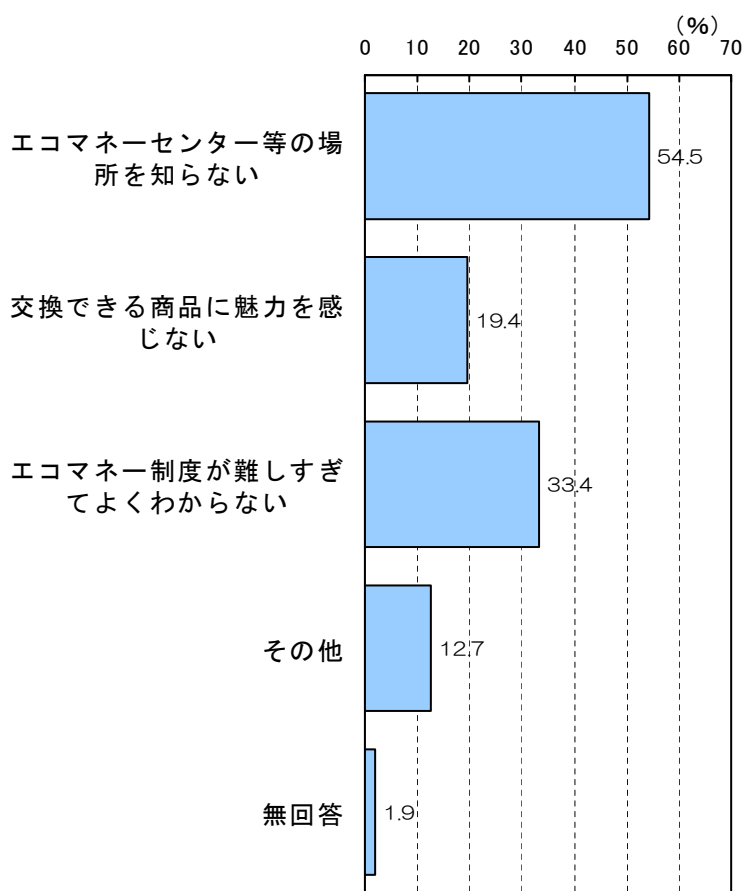
《問 16 で 1 と答えた方（エコマネーの制度を知っている方）におたずねします。》

問17 あなたは、EXPOエコマネーセンターやEXPOエコマネーサテライトを利用したことがありますか。（○は1つだけ）



《問 17 で 2 と答えた方（エコマネーセンター等を利用したことがない方）におたずねします。》

問 18 その理由は何ですか。（○はいくつでも）



N=314

《すべての方におたずねします。》

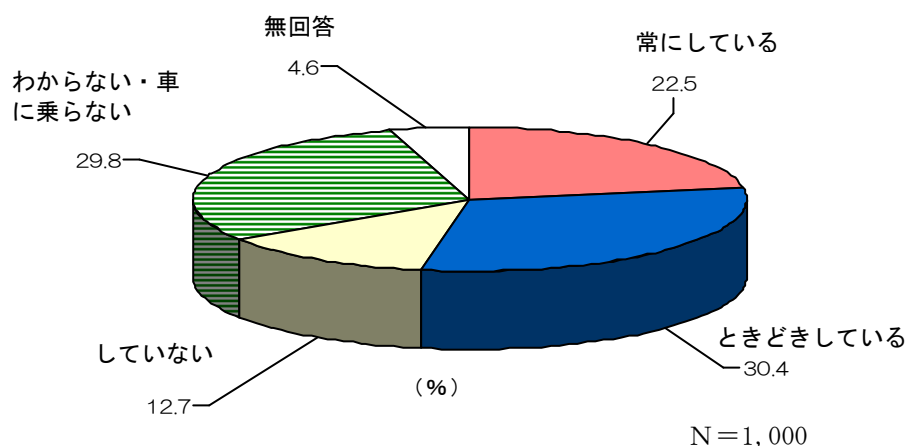
＜エコドライブについて＞

名古屋市内から排出される二酸化炭素排出量は、約 25%が自動車から排出されています。自動車を運転するときは、環境負荷の軽減に配慮した運転「エコドライブ」を実践することが大切です。

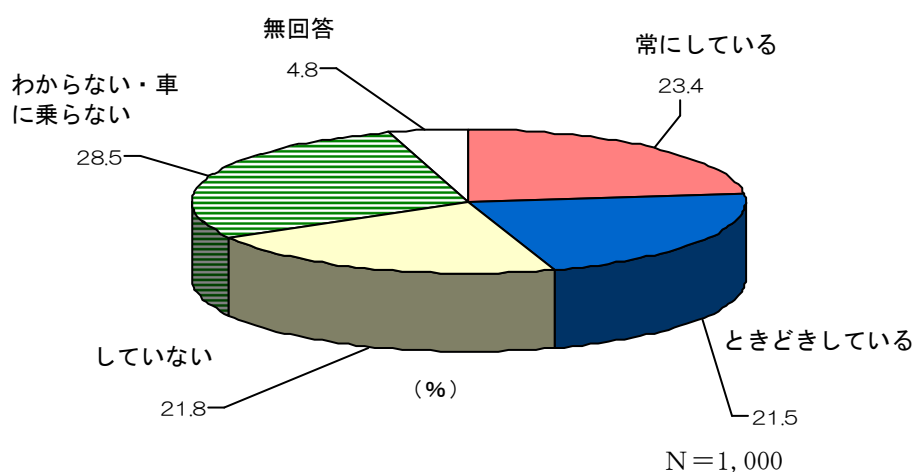
本市では、ゆっくり発進する「ふんわりスタート」（目安は発進から 5 秒で 20km/h）や、自動車を駐停車させているときにエンジンを切る「アイドリング・ストップ*」等の「エコドライブ 10 のすすめ」を推奨しています。

*平成 15 年からは、本市条例でアイドリング・ストップが義務付けられています。買い物などで自動車から離れる場合や、休憩・電話などのために駐停車する場合などには、エンジンを止めなければなりません。

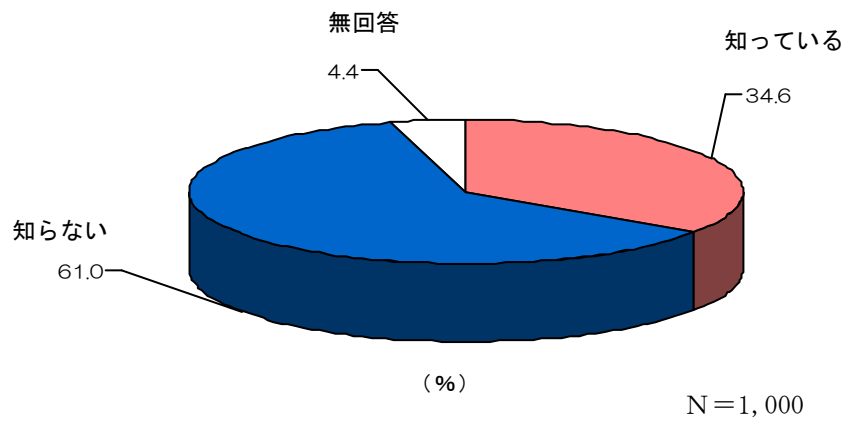
問 19 あなたは、運転するときにエコドライブをしていますか。（○は1つだけ）



問 20 あなたは、駐停車中にアイドリング・ストップをしていますか。（○は1つだけ）



問 21 あなたは、条例でアイドリング・ストップが義務づけられていることを知っていますか。(○は**1つだけ**)



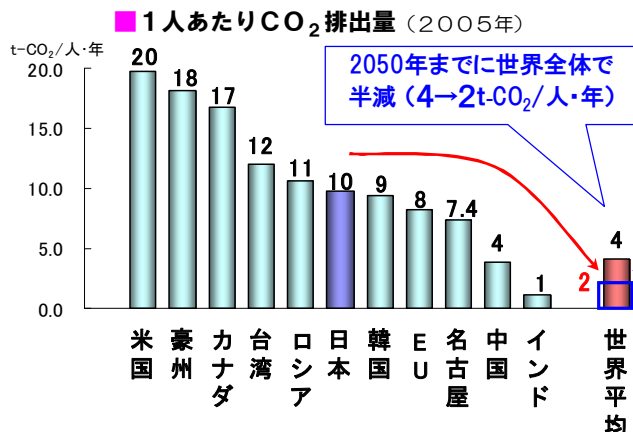
<低炭素都市2050なごや戦略 ～低炭素で快適な都市なごやへの挑戦～>

近年、化石燃料消費の少ない低炭素社会に向けた議論が活発化しており、2008年のG8(主要国首脳会議)では、世界全体の温室効果ガス排出量を半減させることが合意されました。世界の人々が平等に負担を分かち合う視点に立つと、日本は、現在の一人あたりCO₂排出量10tから8割削減の2tにすることが求められます(下図参照)。

本市では、「低炭素都市2050なごや戦略」を策定し、エネルギー消費の少ない都市構造、まちづくりの方向性をお示しするとともに、温室効果ガスの削減に向けて以下の挑戦目標を掲げました。

■ 挑戦目標(1990年比) 温室効果ガス排出量(≒CO₂排出量)

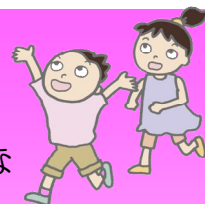
中期(2020年)	25%削減
長期(2050年)	8割削減



この戦略では、なごやの将来像として市民が支える3つの生活像を提案しています。

市民協働パワー が支える3つの生活像

市民パワーの集結、市民の主体的な活躍が低炭素社会の実現への土台となります。



駅そば生活

歩いて暮らせる
駅そば生活

住宅・店舗・職場などが駅のそばに集まり、徒歩や自転車、公共交通機関で暮らすまち

ふうすいりよくいん 風水緑陰生活

身近な自然を
享受できる生活

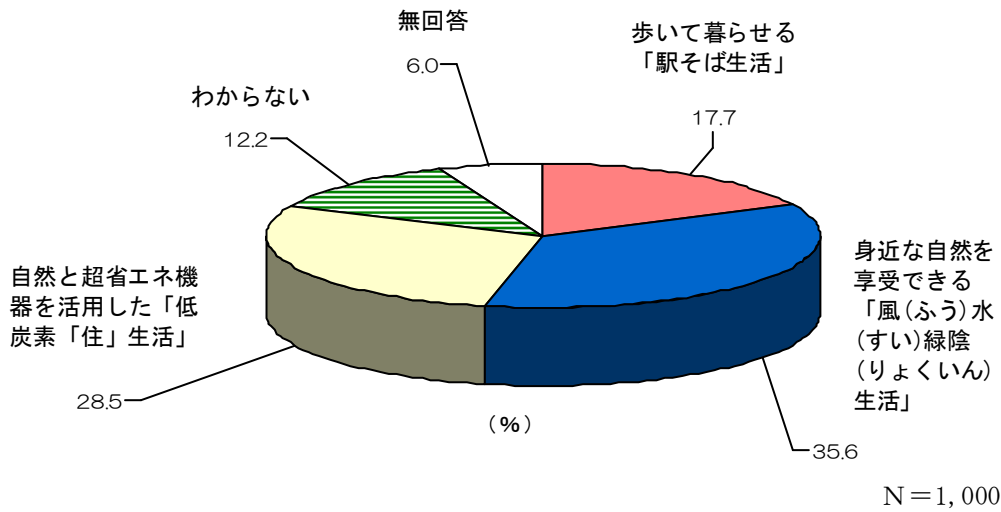
小川の再生や緑地・農園の保全など、地形や水・風・緑などの自然や風土を生かした生命息づくまち

低炭素「住」生活

自然と超省エネ機器を活用した快適低エネルギー生活

公共交通機関の利便性の向上や、次世代型交通システムが普及したまち
自然の光や風等の自然エネルギーが飛躍的に導入されたまち

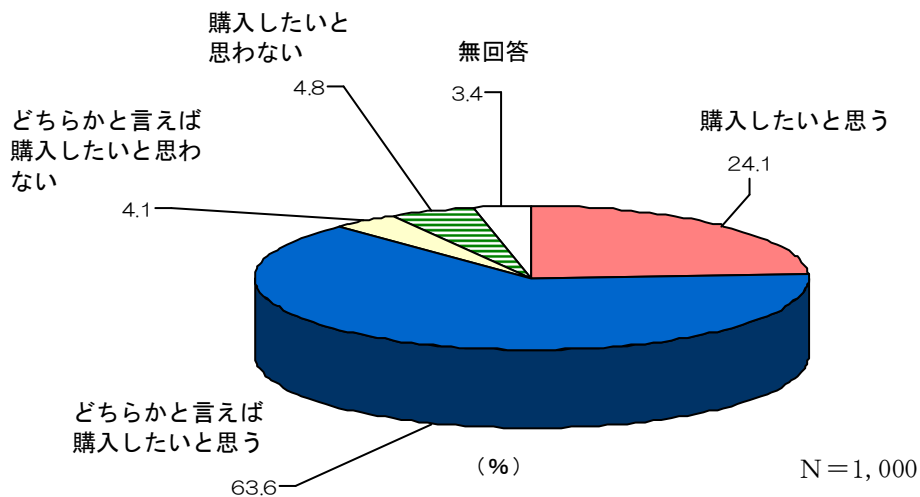
問 22 あなたは、「低炭素都市 2050 なごや戦略」が提案する 3 つの生活像のうち、名古屋市としてどの対策を重点的に取り組むべきであると考えますか。(〇は1つだけ)



<企業の環境配慮について>

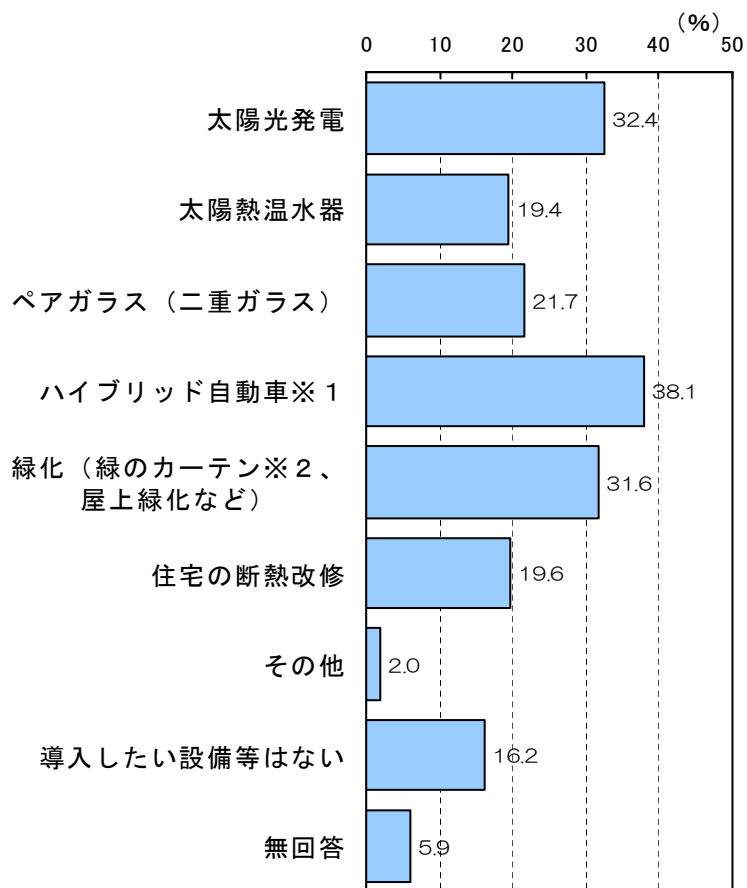
近年、地球環境問題が深刻化しており、企業の社会的責任を求める声が増えています。これらの声に応え、「ISO14001 等環境マネジメントシステムに取り組む」、「省エネ製品等の環境にやさしい商品を開発する」、「清掃活動や環境 NPO に寄付するといった社会貢献活動を実施する」など、環境に配慮した取り組みを行う企業が増加してきています。

問 23 あなたは、企業が環境に配慮した活動をしていることをPRしている場合、その企業の商品やサービスを優先的に購入したいと思いますか。(〇は1つだけ)



<エコ住宅・省エネルギー設備について>

問 24 あなたのご家庭で今後導入したいと思うエコ住宅設備や省エネルギー設備等がありますか。(〇はいくつでも)



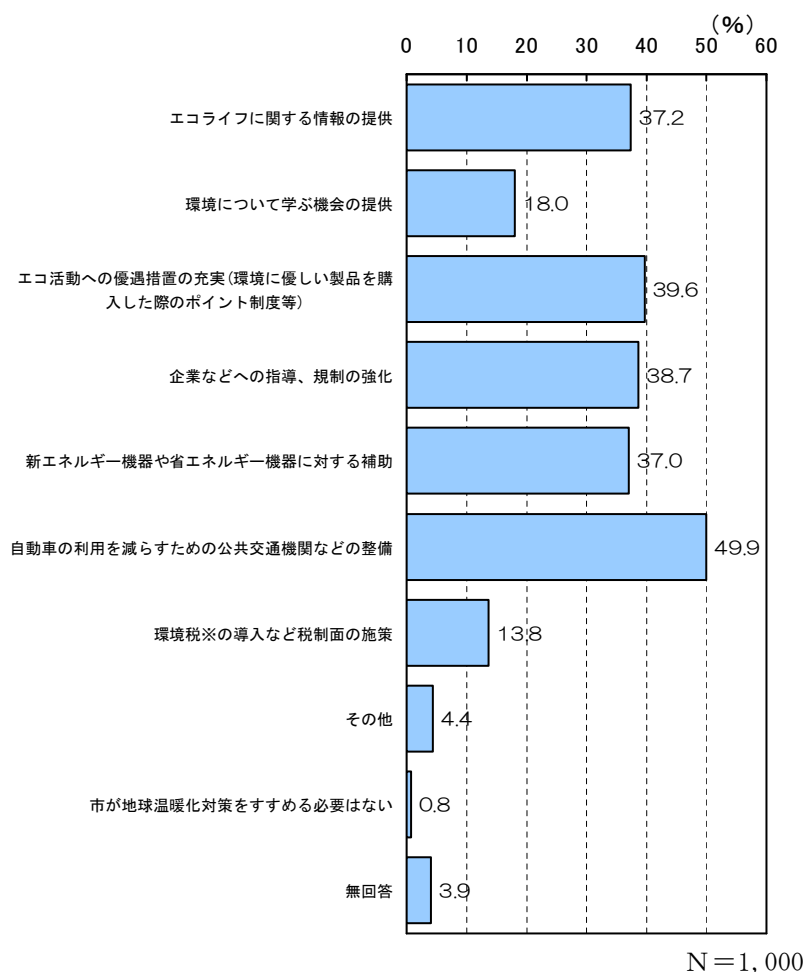
N=1,000

※1 ハイブリッド自動車とは、ガソリンで動くエンジンと電気で動くモーターの2つの動力機関を搭載した、CO2などの排出量が少ない自動車のこと。

※2 緑のカーテンとは、夏場に庭やベランダにつる性の植物を育て、住宅の温度上昇を抑える取り組みのこと。

<行政の地球温暖化対策について>

問 25 地球温暖化対策をさらに推進するために、市にどのような取り組みを望みますか。(〇はいくつでも)



※ 環境税とは、電気・ガスやガソリンなど、地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出するエネルギーに課税することで、二酸化炭素排出量に応じた負担を求める仕組み。